

携帯電話等に関するアンケート調査結果について<概要版>

釧路市生徒指導研究協議会・釧路市教育委員会

【調査目的】

釧路市生徒指導研究協議会では、市内の全小・中学校の生徒指導担当者を会員として、生徒指導における今日的な課題に即応するため、全市的な指導体制の下に研究協議を続けております。

本調査は、本研究会と釧路市教育委員会と連携し、市内小・中学生の携帯電話の使用状況を把握し、携帯電話の使用に起因する問題行動、事件・事故等に対する対策や今後の取組の基礎資料とするとともに、各学校、保護者の皆様に、指導・啓発や安全対策の参考として活用することを目的に実施しました。

【実施時期】

平成26年12月実施

【調査方法】

無記名による質問紙アンケート

【調査対象】

- (1) 児童生徒 釧路市内小学校4年生～中学校3年生
- (2) 保護者 釧路市内小学校4年生～中学校3年生の学年1クラスの抽出

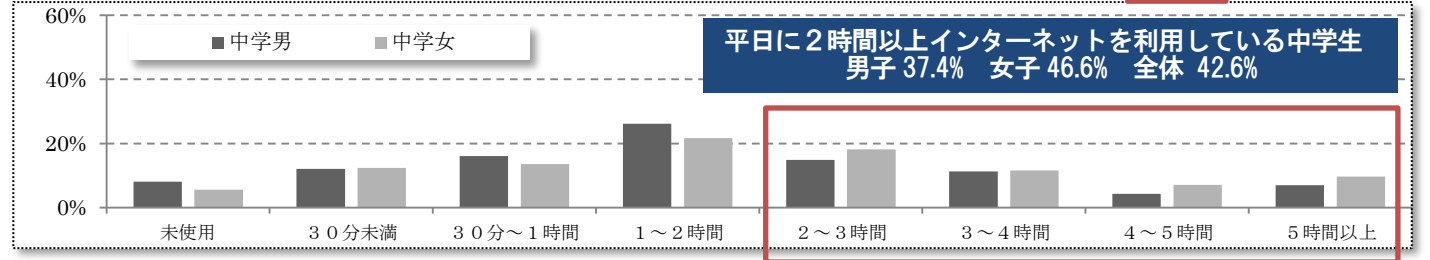
【調査回答者数】

- (1) 児童生徒 7,979人 (小学生 3,950人 中学生 4,029人)
- (2) 保護者 3,089人 (小学生保護者 1,720人 中学生保護者 1,369人)

実態 インターネットの利用時間

【質問4】平日1日に平均してどのくらいの時間、インターネットを使いますか。

	回答数	学年別							
		小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 使っていない	552	37.1%	23.0%	15.0%	24.4%	8.4%	6.4%	5.3%	6.7%
2 30分未満	565	33.2%	32.0%	23.2%	29.1%	13.3%	13.3%	10.4%	12.3%
3 30分以上1時間未満	660	17.0%	19.6%	18.8%	18.5%	16.6%	14.7%	13.0%	14.7%
4 1時間以上2時間未満	1777	5.3%	13.3%	17.6%	12.4%	23.3%	23.0%	24.7%	23.7%
5 2時間以上3時間未満	761	4.0%	3.7%	8.5%	5.6%	15.6%	16.4%	17.9%	16.7%
6 3時間以上4時間未満	762	0.4%	2.1%	7.1%	3.4%	10.4%	11.2%	12.7%	11.5%
7 4時間以上5時間未満	826	0.5%	2.1%	3.6%	2.2%	5.4%	5.4%	6.8%	5.9%
8 5時間以上	2349	1.3%	3.7%	5.3%	3.5%	6.7%	9.7%	9.1%	8.5%

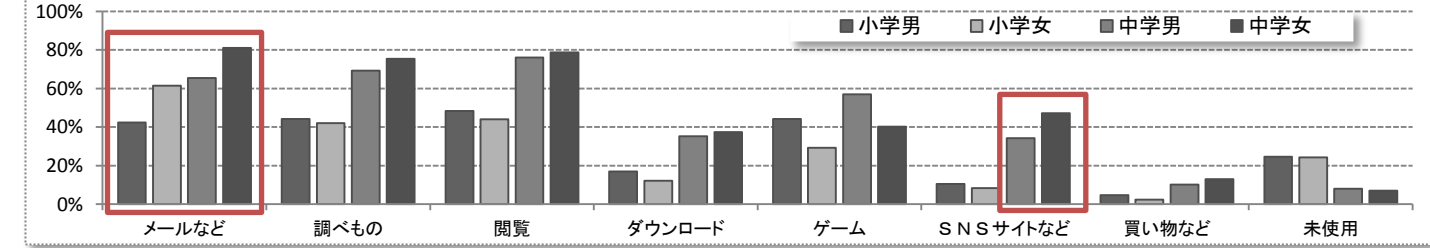


小学校では、0～1時間未満に回答が集中していますが、中学校では1～3時間未満の回答が多いことから、**学年が上がるにつれてインターネットを利用する時間が増加している**ことがわかります。
また、**中学校では3時間以上インターネットを利用していると回答している割合が約26%**となっていることから、長時間インターネットを利用している実態がみられます。

実態 インターネットの利用内容

【質問5】携帯電話でインターネットを使って何をしていますか。(複数回答)

	回答数	学年別							
		小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 メールやメッセージ	552	42.9%	51.5%	62.1%	52.8%	70.8%	73.8%	77.6%	74.2%
2 調べもの	565	28.8%	41.9%	55.8%	43.0%	70.4%	72.6%	74.8%	72.7%
3 音楽や動画などの閲覧	660	32.6%	44.6%	58.3%	46.0%	74.1%	78.7%	79.7%	77.6%
4 音楽や動画などのダウンロード	1777	8.5%	13.5%	19.8%	14.3%	35.3%	35.6%	38.1%	36.4%
5 ゲーム	761	28.3%	34.3%	43.9%	36.0%	49.4%	47.6%	46.1%	47.7%
6 SNSサイトなどインターネット上でのコミュニケーション	762	3.4%	8.3%	15.3%	9.4%	30.7%	39.4%	53.4%	41.5%
7 買い物やチケットの予約	826	1.4%	3.7%	4.8%	3.4%	8.3%	9.8%	16.6%	11.7%
8 インターネットを使っていない	2349	35.9%	22.7%	16.4%	24.4%	9.1%	6.4%	6.9%	7.4%



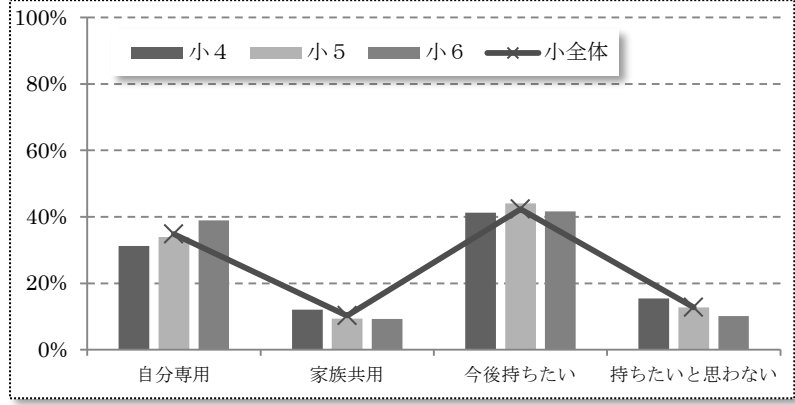
小学校では、**学年が上がるにつれてメールやメッセージの利用が多くなり**、特に**小学校6年生女子では71.7%の児童がメールやメッセージを利用**しています。また、**ネットゲームについては男子の利用が多く**、小学校6年生男子では52.2%の児童がゲームを利用していることがわかります。

中学校の特徴として、「**SNSサイトなどインターネット上のコミュニケーションを利用している**」と回答している割合が**小学校に比べて高くなっています**。特に女子の利用率が高く、中学校3年生女子では60.9%、男子においても44.8%の生徒が利用していることがわかります。またゲームの割合も小学校に比べて高くなっており、男子では57.0%の生徒が利用していることから、携帯電話やスマートフォンが単なるコミュニケーションツールではなく、時間潰しや趣味といった要素も含まれてきていることが伺えます。

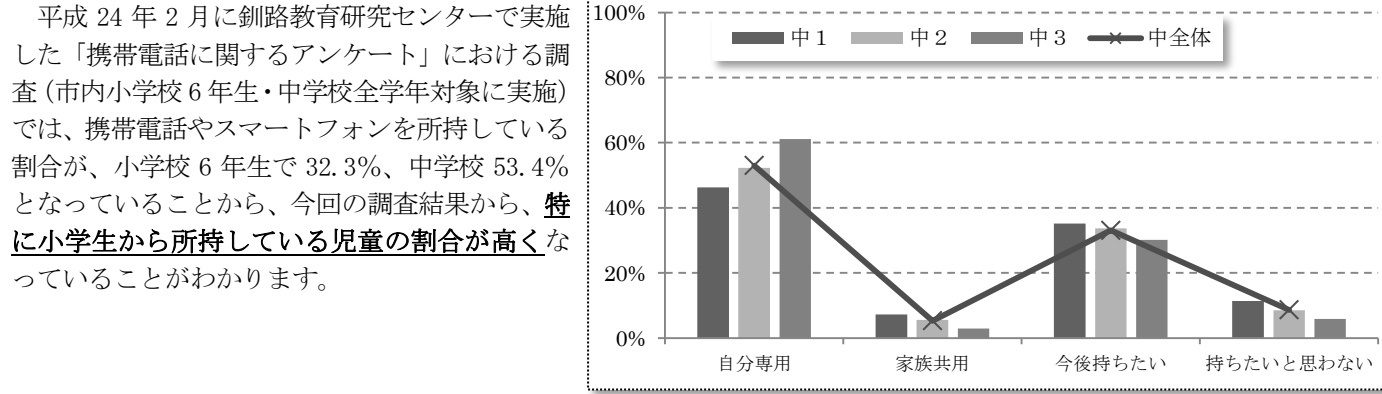
実態 携帯電話の所持率

【質問1】あなたは、携帯電話（PHS・スマートフォンを含む）をお持ちですか。

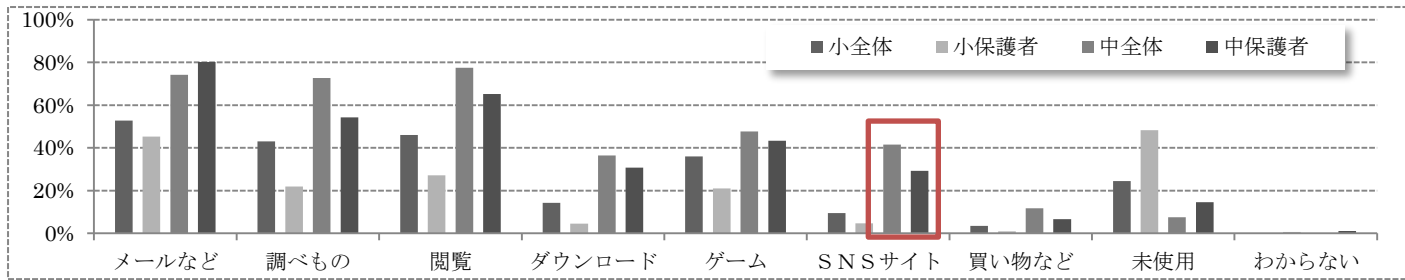
	回答数	学年別							
		小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 自分専用の携帯電話を持っている。	1274	31.2%	33.9%	38.9%	34.8%	46.3%	52.3%	61.1%	53.0%
2 家族と一緒に使っている携帯電話を持っている。	1307	12.1%	9.3%	9.3%	10.2%	7.2%	5.5%	2.9%	5.3%
3 持っていないが、今後持ちたいと思っている。	1369	41.2%	44.0%	41.6%	42.3%	35.2%	33.7%	30.1%	33.1%
4 持っていないし、持ちたいと思わない。	3950	15.5%	12.8%	10.2%	12.7%	11.3%	8.5%	5.8%	8.6%



自分専用の携帯電話やスマートフォンの所持の割合ですが、**学年が上がるにつれて携帯電話やスマートフォンを持っている割合が高くなっています**。中学校3年生では61.1%の生徒が所持していることから、**中学校の半数以上の生徒が、携帯電話やスマートフォンを所持している**ことがわかります。



平成24年2月に釧路教育研究センターで実施した「携帯電話に関するアンケート」における調査(市内小学校6年生・中学校全学年対象に実施)では、携帯電話やスマートフォンを所持している割合が、小学校6年生で32.3%、中学校53.4%となっていることから、今回の調査結果から、**特に小学生から所持している児童の割合が高くな**っていることがわかります。



保護者アンケートは抽出のため単純に比較することはできませんが、児童生徒の結果と比較すると、SNSサイトの利用については、中学校生徒の41.5%が利用していると回答しているのに対し、中学校保護者は29.2%と回答しており、生徒の利用実態と保護者の認識に開きがあります。

実態 インターネットのトラブル等の経験
【質問6】次の中で経験したことのあるものをすべて選んでください。(複数回答)

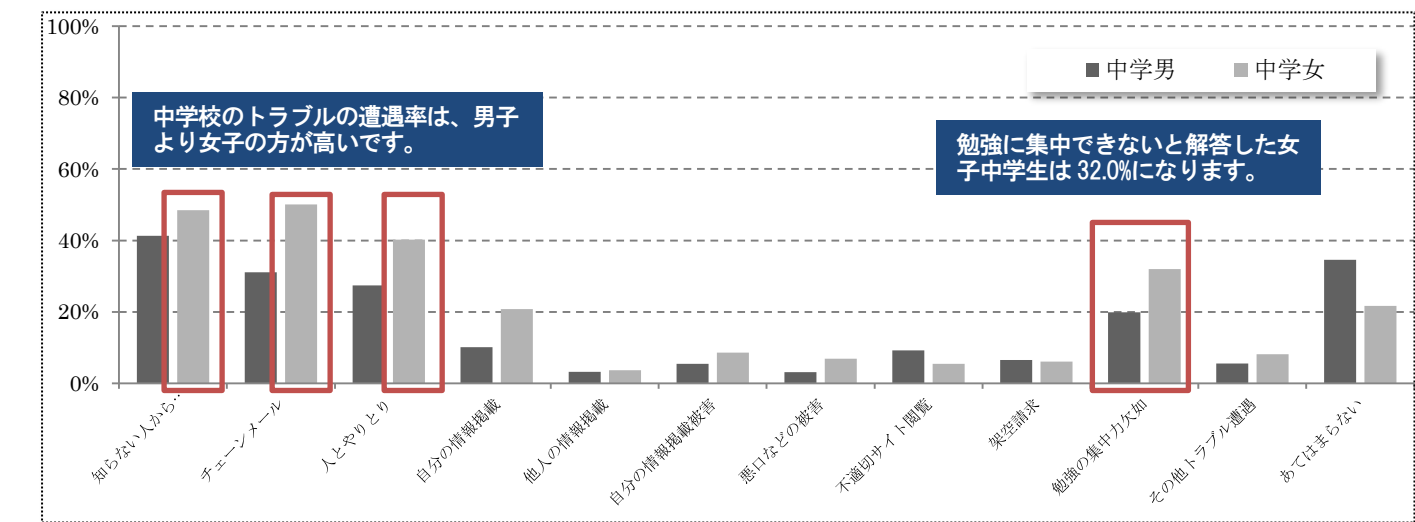
	回答数							
	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 知らない人からメールがきた。	7.8%	13.6%	19.8%	14.1%	36.1%	46.5%	52.8%	45.3%
2 チェーンメールがきたことがある。	1.8%	7.8%	25.6%	12.5%	41.0%	39.0%	44.9%	41.7%
3 ネットで、会ったことのない人とやりとりをしたことがある。	3.1%	7.6%	17.0%	9.7%	30.1%	34.6%	38.7%	34.6%
4 インターネット上に自分の情報や写真を載せた。	0.7%	1.1%	4.1%	2.1%	11.4%	15.1%	21.3%	16.1%
5 他人の情報や写真を、ネット上に勝手に載せた。	0.4%	0.4%	0.9%	0.6%	2.6%	3.8%	4.1%	3.5%
6 自分の情報や写真を、ネット上に勝手に載せられた。	0.2%	0.7%	1.4%	0.8%	6.0%	6.4%	9.1%	7.2%
7 メールや掲示板、ブログなど悪口を書かれた。	0.0%	0.9%	1.2%	0.7%	3.7%	4.9%	7.1%	5.3%
8 親に話にくいサイトを見たことがある。	1.1%	2.5%	3.0%	2.3%	4.6%	8.0%	8.7%	7.2%
9 架空請求を受けたことがある。	0.0%	0.7%	0.8%	0.5%	3.4%	6.7%	8.6%	6.3%
10 メールやネットにのめり込んで、勉強に集中できなかったことがある。	2.5%	5.7%	8.8%	5.9%	23.1%	24.7%	31.8%	26.7%
11 その他、携帯電話を使うにあたって、困ったことやトラブルに遭ったことがある。	1.8%	3.5%	4.7%	3.4%	6.0%	8.3%	6.8%	7.0%
12 あてはまるものはない。	86.1%	72.4%	55.3%	70.3%	36.0%	27.8%	19.1%	27.4%

学年が上がるにつれトラブルの遭遇率が高くなります。

小学校全体では「あてはまるものはない」と回答した児童が70.3%であるのに対し、中学校全体では27.4%となっており、**中学校段階でトラブルに遭遇する確率が高くなっている**ことがわかります。

中学校では「ネットで会ったことのない人とやりとりをしたことがある」が、学年が上がるにつれ増加しており、中学校全体では34.6%の生徒が経験していると回答しています。小学校全体では9.7%であることから、中学生になり、ネットで会ったことのない人とやりとりをする経験が増える傾向にあります。

さらに、中学校では「メールやネットにのめり込んで、勉強に集中できなかったことがある」と回答している割合は、**学年が上がるにつれ増加しており、中学校全体では26.7%の生徒が影響を受けている**と回答しています。



中学校における男女別の比較をみていくと、**トラブルの遭遇率については、男子に比べ女子の方が高いことがわかります**。特に「知らない人からのメール」や「チェーンメール」、「ネットで、会ったことのない人とやりとりをしたことがある」といった項目では男子より女子の方が高くなっていることから、女子の方がインターネットを介したコミュニケーションにかかわるトラブルに遭遇する割合が高くなっていることが予想されます。

また、「メールやブログ、掲示板などで悪口を書かれた」という回答も、中学校3年生では男子4.4%、女子9.5%となっており、比較すると女子の方が高い割合となっています。

また、「メールやネットにのめり込んで、勉強に集中できなかったことがある」と回答した中学生は、**男子が19.9%、女子が32.0%となっており、約3割の女子がインターネットの影響を受けている傾向**がわかります。

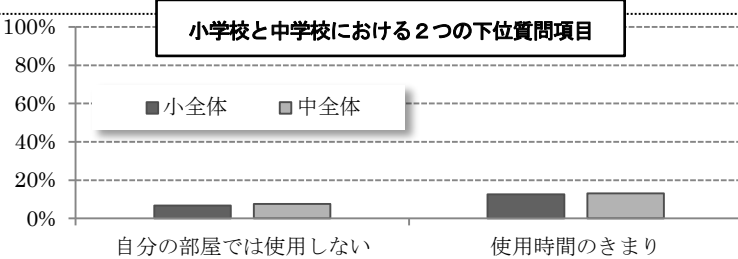
実態 携帯電話使用に関する家庭での約束
【質問8】携帯電話を使うにあたって、家の人との約束事がありますか。(複数回答)

	回答数							
	小4	小5	小6	小全体	中1	中2	中3	中全体
1 自分の部屋でメールや電話をしてはいけない。	7.2%	7.8%	5.3%	6.7%	9.6%	6.8%	6.4%	7.6%
2 家から持ち出すときは親に伝える。	29.0%	23.0%	17.9%	23.0%	11.3%	7.5%	4.2%	7.6%
3 使える時間がきまっている。	12.9%	12.0%	13.0%	12.7%	15.8%	12.7%	11.0%	13.1%
4 料金に関するきまりがある。	15.9%	19.5%	25.5%	20.6%	31.5%	26.6%	24.8%	27.6%
5 携帯電話を親が見ても良いことになっている。	37.3%	35.0%	32.1%	34.7%	25.1%	18.0%	11.3%	17.9%
6 メールなどで人の心は傷つけてはいけないと言われている。	24.1%	26.0%	34.2%	28.5%	30.9%	25.2%	20.9%	25.5%
7 見てはいけないサイトなどのきまりがある。	22.5%	20.5%	20.8%	21.2%	21.2%	15.4%	13.6%	16.6%
8 その他、してはいけない約束がある。	24.6%	21.2%	27.9%	24.8%	25.8%	18.8%	15.1%	19.8%
9 約束事は特にない。	30.3%	31.5%	28.6%	30.1%	29.6%	36.5%	44.4%	37.0%

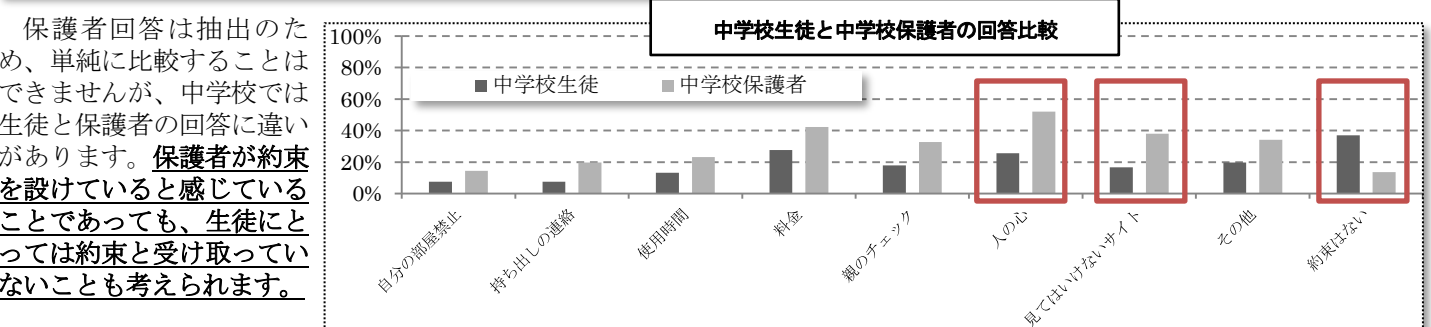
小学校では「携帯電話を親が見ても良いことになっている」と回答した児童が34.7%となっており、中学校の17.9%と比較して高い割合になっています。また、「家から持ち出すときは親に伝える」と回答した児童が23.0%となっており、中学校の7.6%と比較して高い割合になっています。

小学校段階では、機能限定付の携帯電話の利用も含め、中学校に比べて保護者が関与している傾向がわかります。

中学校では「約束事は特にない」と回答している割合が37.0%となっています。また、中学校では、学年が上がるにつれ割合が高くなっていることから、子どもの成長とともに、携帯電話に対して約束を設けていないことがわかります。



左のグラフからも分かるように、「自分の部屋では使用しない」や「使える時間がきまっている」など、**児童生徒の使用場所や時間を制限する約束事については、小・中学校ともに共通して低い数字**となっていることがわかります。



保護者回答は抽出のため、単純に比較することはできませんが、中学校では生徒と保護者の回答に違いがあります。**保護者が約束を設けていると感じていることであっても、生徒にとっては約束と受け取っていないことも考えられます。**

今回の調査から、携帯電話やスマートフォンの利用は低年齢化しており、多くの児童生徒が携帯電話やスマートフォンを利用して、インターネットを利用していることがわかりました。児童生徒に情報モラル指導や携帯電話やスマートフォンの使い方について、トラブルにあわない使用方法を指導していくことが大切であると考えます。使用方法の指導については学校だけでなく、保護者が子どもの使用状況を把握し、子どもと向き合い、携帯電話やスマートフォンの使い方について、家庭でしっかりと話し合うことが必要です。子どもたちに健やかな心を育成するために、学校と家庭と地域が連携を図りながら携帯電話やスマートフォンの使い方について考えていくことが大切です。